



考える防災  
自分と大切な人の命を守るために  
私たちが今できること

近年、増えている台風や線状降水帯から、自分や大切な人を守るために何ができるのか。かすかべ親善大使の平井さんと市の危機管理防災課職員・池田さん、横山さんが、台風2号での稼働の跡が残る首都圏外郭放水路で語り合いました。

かすかべ親善大使・気象予報士・平井 信行さん  
防災士・気象防災アドバイザー  
熊本県八代市出身、平成8年より春日部市在住。現在は「首都圏ニュース845 (NHK総合)」などに出演する他、環境教育、防災教育や気象予報士の育成などに携わる。  
春日部市危機管理防災課 職員 池田さん(写真左) 横山さん(写真右)

「私はどうしたらいいですか」  
あの日多かった問い合わせ

各地に大きな被害をもたらした、令和元年東日本台風、いわゆる台風19号。平井さんや春日部市職員も対応に追われていたそう。

平井 前日の夜はずっとテレビ局で仕事をしていました。一級河川の氾濫や大規模土砂災害など、これまで災害が起きなかった地域も危険ですと、一晩中お伝えしていました。

池田 春日部市ではあの時初めて避難勧告(当時。現在は廃止され、避難指示に統一)が出て、避難所を開くことに。僕もずっと対策本部に詰めていましたが、市民の方からびっくりなしに電話がかかってきました。一番多かったのが「私はどうしたらいいの?」というもの。お住まいの住所をお聞きしてハザードマップを確認し、1件1件対応しました。

横山 私は当時まだ学生で、家にいたのですが、そこまで危険だったことを全然知りませんでした。防災行政無線も流れていたようですが雨が強すぎて全然聞こえなかったんです。

マスメディアと行政  
それぞれの情報発信

平井 私は市内に住んでいるのですが、先日の令和5年台風2号の時も、この道路が通行止めといった細かい情報が春日部市のツイッターなどで発信されていて、大変役立ちましたね。

池田 あまり頻繁に流しても、煩わしく思う方もいるかもしれません。しかし、SNSは知りたい情報を自分で取りにいけるメディアです。情報を求めている人に届けられるよう、夜間でしたが市WEBやメール、ツイッターで発信していました。

平井 私は放送では、ハザードマップを見て、浸水する高さが2mまでならご自宅で垂直避難をするように、といった視聴者の方がご自身の行動の参考としていただけるようなアドバイスを入れるように心掛けています。マスメディアは一斉に多くの方に伝えられるメリットがあるからです。一般的にこの場合はどうするべきかというマスメディアによる広い発信と、今この場所はどうなっているのかという行政からのピンポイントの情報発信、その両方が必要ですね。

普段から気象情報を見慣れておくことが大切

平井 私がお勧めしているのはキキクルという気象庁のサイトです。これは水害危険度分布が色分けされ、10分ごとの危険度が何丁目レベルで分かります。そして、気象情報で気にしていただきたい要注意ワードは「台風」と「線状降水帯」。ここ数年気象庁によって名前がつけられた気象災害は台風が線状降水帯のどちらかです。この単語が出てきたら、ご自身で作成しておいたマイ・タイムライン(防災行動計画)に沿って行動すると決めておくといいですね。

池田 マイ・タイムラインは、急に作ろうと思っても難しいので、平時に作成しておくことが大事ですね。

横山 危機管理防災課では、マイ・タイムライン作成のアドバイスもしています。それぞれご自身やご家族の状況に合わせて、準備や避難方法をご提案しますので、ぜひお気軽にご相談ください。

平井 いざというときにパニックにならないために、普段から気象情報を見慣れておくことが大事ですね。自分の命は自分で守る=自助がないと周りの人を助けられません。周りの人と励まし合って助け合う、これが共助です。それができてからやっと行政などの公の助け=公助になります。まずは自分で判断できること。ほんの少しの意識の差が、生死を分けます。情報に対する感度を高めて、いざというときに適切な避難行動を!

首都圏外郭放水路とは?

首都圏を水害から守る全長6.3kmにわたる世界最大級の地下放水路。中川、倉松川、大落古利根川、18号水路、幸松川があふれそうなときに、洪水の一部をゆとりのある江戸川へと流します。見学会も開催中!



詳しくは▶



取材協力/国土交通省 関東地方整備局 江戸川河川事務所



作っておくとこんなに違う

マイ・タイムライン

マイ・タイムラインとは、水害が近づいたときに「いつ」「何をするのか」を整理した個人(世帯)の防災計画です。災害時の状況は一人一人違います。あらかじめ時系列に沿ってシミュレーションしておくことが重要です。



マイ・タイムラインを作っているAさん一家



- 気象情報を普段からチェック
- 家族でマイ・タイムラインを作成



- 家族の予定を確認
- 備蓄品や常備薬の確認



- メールなどで避難準備情報を確認
- マイ・タイムラインに沿って行動

平時

3日~1日前

当日

特に準備をしていないBさん一家



自分は被災しないだろうと思ひもしない



自分は被災しないだろうと思っているので  
普段どおりに生活



なんだか大変なことになっていそう。  
でも、どうしたらいいかわからない

▶ マイ・タイムラインの作り方は市WEBの他、危機管理防災課でお伝えしています



▶ マイ・タイムラインの作り方



普段からチェック!

情報の入手方法

安心安全情報メール「かすかべ」、市公式ツイッター(X)

防災・防犯、火災、子育て、行政、気象情報などをメールで配信。下記に空メールを送信。届いたメールに入力して登録。kasukabe@emp-sa.smart-igov.jp



▲安心安全情報メール「かすかべ」



▲市公式ツイッター(X)

Yahoo!防災速報

春日部市が提携している防災アプリ。マイ・タイムライン作成ページも。



キキクル

大雨による災害発生危険度の高まりを地図上で確認できる気象庁の「危険度分布」。ウェブサイトやアプリで見られる。



防災行政無線

市民の皆さんに災害情報などをいち早くお伝え。フリーダイヤルによる自動音声で、最近の内容を確認できます。

0120-899-300 (通話料無料)



状況に合わせた避難を

時間的猶予あり

水平避難



自家用車をお持ちの場合は、車中泊避難を検討しましょう。市内大型商業施設などの協力を受け、施設駐車場を車中泊避難者専用の一時滞り場所として開放します。

時間的猶予なし

垂直避難



「自宅が浸水しない」「浸水しても2階など安全な場所がある」場合は、在宅避難をしましょう。自宅の水害リスクを的確に把握し、水・食料・簡易トイレを十分に備蓄することがポイントです。

防災関連のご相談は平時のうちに!

マイ・タイムラインの作り方や、防災アプリの入れ方まで、お気軽にご相談ください!

問 危機管理防災課(内線2344)

市WEBにも防災情報掲載中▶

